

住民の立場から、認知症の方や家族が安心して暮らせる地域づくりを目指しました。

地域で認知症の方を見守るための
オレンジステッカーづくり

地域づくりの「シンボル」として、また徘徊の方を発見した時の連絡先として「オレンジステッカー」を作成し、掲載のお願いと周知をしました。



認知症が正しく理解されて、ご近所と、ご本人やご家族と話ができるまちになればいいわね。

介護者の負担を軽くするには・・・

家族の負担を軽減するためには、ご近所と顔の見える関係になるといいんじゃないかな。



地域の集会場でサポーター養成講座を開催した後、茶話会を開催。好評だった茶話会を続けます。

相談窓口や医療につながるには・・・

もの忘れが気になりだしたら
気軽に「相談ください」。

一番なじみの、かかりつけのお医者さんに、もの忘れの相談ができるといいのだけれど・・・

- メンバーが自分の主治医を訪問し、もの忘れ相談について話し合いました。
- 医院に「ステッカー」を貼ってもらい、相談しやすくなりました。



認知症支援ワークショップメンバー

掲示板

『お役立ち情報集』配布のお知らせ。

豊玉中・豊玉南・中村北・中村・中村南地域版、高齢者のための『お役立ち情報集』をお渡しいたします。モデル地域の65歳以上の世帯に4月21日よりお渡しいたします。配布場所は、区役所在宅支援課または、練馬福祉事務所内地域包括支援センター、練馬地域包括支援センター豊玉支所・練馬支所、豊玉高齢者センター、中村敬老館、豊玉北地区区民館、中村地域集会場です。

最終号 平成21年3月発行

連絡先 練馬区健康福祉事業本部 在宅支援課
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目12番1号
TEL 03-5984-4597 FAX 03-5984-1215

ふれあいつうしん “ねりま”

豊玉中・豊玉南・中村北・中村・中村南地域版

認知症になっても 安心して暮らせるまちをつくらう

最終号 平成21年3月発行

◆ふれあいつうしん “ねりま” 最終号をお届けします！

『認知症になっても安心して暮らせるまちづくり』に向けた話し合いをしてきました。その成果をお知らせします。

活動その1：「お役立ち情報集」が出来ました。困りごとが生じたご本人の気持ちに立ち、役立つ情報を探せるように工夫しました。

活動その2：徘徊 SOS ネットワーク「模擬訓練」を平成21年2月に行いました。

地域資源マップ 平成20年度
～明日の自分のために～
高齢者のお役立ち情報集
認知症になっても地域で安心して暮らすために

お役立ち情報 目次

- 1 認知症、徘徊、徘徊防止対策
- 2 介護サービス上手に利用したい
- 3 子育て支援のこと（産後・育児）
- 4 自分に合う場所を見つけたい
- 5 緊急連絡先
- 6 安心して介護を受けながら

情報集 36 ページ

簡易版 4 ページ



活動その3：「家族会」の役割や課題について検討しました。



認知症の人を支える家族の会

木瓜の花 例会

モデル地域の65歳以上の世帯に4月21日よりお渡しいたします。配布場所については、4ページの掲示板をご覧ください。

平成19年10月～平成21年3月の2年間にわたり、18回の認知症コーディネーター委員会が開催されました。

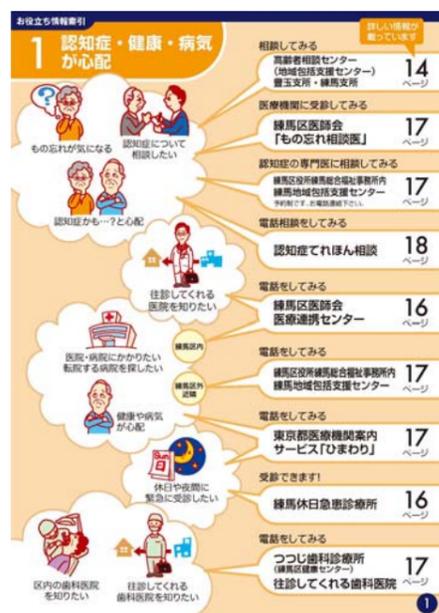
その活動報告を大きく三つにまとめて報告いたします。

◆ [活動その1] 地域資源マップが「お役立ち情報集」として完成しました。

- 認知症コーディネーター委員会で、最も強く要望された「認知症のご本人の気持ちに立とう」を念頭に、介護の場面で出会った方々の事例を検討し、初めに生じた困りごとに着目して分類し、実際に役立った情報をご案内するように作成しました。

索引 こんな時には・・・

このページをみれば、情報が載っています。



困ったことから、役立つ情報を探すことができます。



- 認知症の解決は、医学の力だけではありません。地域でこれまで通り生活をおくるためには、周囲の人の理解や協力も力となります。
- 情報集には、地域の「配達してくれる商店」「出張サービスしてくれる理・美容店」も掲載されています。この情報集は、そうした理解や協力の輪・広がり的一端を示すことによって、認知症の方やそのご家族の皆様の安全・安心につながることをめざして作られた、支えあう地域づくりに向けた「道案内」です。

◆ [活動その2] 徘徊 SOS ネットワーク「模擬訓練」を行いました。

平成21年2月10日(火)にモデル地区内(中村・豊玉地区)で模擬訓練を行いました。

今回の模擬訓練のテーマは、

- 特別に捜索隊を組んで探すのではなく、普段の生活の中での見守りなどによる発見をめざす。
- 情報を関係機関やネットワーク登録区民に早く的確に伝える。



<訓練の概要>

午前9時30分から午前11時まで約1時間30分程度、高齢者に扮した区職員がモデル地区内を徘徊しました。

その後、練馬警察署に保護され、救急隊によって病院へ搬送されるまでを訓練として行いました。

徘徊者の特徴を伝えるメール・ファックスを訓練参加者約150名に配信し、その情報を見た参加者によって2回発見されました。



<訓練を実施して>

発見者からは、「普段なら気に留めないことでも、情報をもらうことで、意識的に周囲を見るようになりますね。」という感想がありました。

メール・ファックスは、検索依頼があってから約20分以内に参加者の元に届き、円滑な情報伝達が行われました。



◆ [活動その3] 「家族会」の役割や課題について検討しました。

○家族会「木瓜の花」の活動を聞きました。家族の本音や悩みが安心して出せる場になっています。

○コーディネーター委員会では、次のような意見ができました。

- ・身近に行ける家族会が欲しい。
- ・家族会を、もっと多くの人に知ってもらえるように伝えていくとよい。
- ・家族会へ参加するまでには、葛藤や迷いが生じるので、初回は、紹介者が付き添うなどの配慮が必要。
- ・家族会の参加が、介護を続けていく上で大事な支えになるが、本人を見てくれる人がいないと参加できない。

介護者同士こんな会話が飛びかいます。



「病気なんだから怒っちゃだめだよ」と病院で言われるけど・・・

毎日のことだものつね・・・

〜〜モデル事業の成果の反映 今後の区の取り組み〜〜

平成19・20年度に取り組んできた東京都認知症地域資源ネットワーク事業の成果を踏まえ、平成21年度以降は区全域に展開していきます。

- 1、認知症高齢者支援ネットワーク

徘徊高齢者の発見・保護できる仕組みなど、地域における認知症高齢者の支援体制を構築するため、住民やかかりつけ医、介護保険事業者、警察など関係機関と連携し支援ネットワークづくりを進めていきます。
- 2、認知症家族・介護者支援

家族・介護者同士の交流を図るために、勉強会や介護者サポーター養成講座、家族・介護者の会の立ち上げ支援を行います。
- 3、認知症高齢者見守り支援

認知症高齢者を対象に見守りなどを行い、家族・介護者の介護負担の軽減を図ります。